

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 高橋 奏太
野々山 真理
赤木 尚徳

- 1 日時 令和5年 6月 6日(火) 第6校時
- 2 場所 3年生A組教室
- 3 学年 第3学年 男子7名 女子15名 計22名
- 4 単元名 「神石高原町春夏秋冬堪能ツアーを町に提言し、地域の活性化を図ろう」
- 5 単元について

○単元の目標

神石高原町の活性化のために新たなツアープランを考案し、それらが財政面、人材面などの視点から実現可能なものか自分たちで実地調査したり関係機関等、多様な他者と連携・協働して実践したりすることを通して自ら課題を発見し、計画的に課題解決する力を身に付ける。

○生徒観

本学級の生徒は、総合的な学習の時間において、神石高原町活性化のために自分たちにできることを見付け、実践するための学習に取り組んできた。2年生時には、神石高原町が抱える課題、つまり自分たちが解決すべき課題をクラスで出し合い、1年間の学習内容の柱を「後継者問題」「働きやすい職場の創出」「土地の活用」と設定した。職場体験学習を中心に、調べ学習をしたり外部講師を招聘したりするなどして情報収集を行い、自分たちが住む地域にある職業が実は跡継ぎがおらず困っていることや、実際に働いている方々が働くうえで望んでいることなどを実際に見聞きして学び、地域活性化への意欲が更に湧いた。

職場体験を終えてからは、地域活性化に向けて生徒の思考が「新たな観光名所、働き口の創出」「土地の活用」を中心としたものになっていった。そして12月にある町の「次世代議会」で自分たちが考える地域活性化計画である「神石高原町春夏秋冬堪能ツアー」をプレゼンすることを決めた。ただし、2年時のこの提案はあくまで試作段階のもので、これから自分たちがクリアしていく課題を大人の視点から指摘してもらったり、町が現在行っている地域活性化に向けた取組などを知ったりすることを目的としていた。この議会を受けて、3年時に行う総合的な学習の時間の内容について再度計画を立て、現在は情報収集をしている状況である。

本学級の生徒に、総合的な学習についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。
(肯定的評価/18人中)

課題発見力	1 身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことを見付けています。	13
	2 地域の方のために自分にできることを考えています。	11
	3 友達や、地域の方がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	16
課題解決力	4 解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	14
	5 課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	14
	6 課題を解決するためのものを集める前に、どのような方法だと必要なものを集めることができるのかを考えています。	14
	7 たくさんの資料から、さなざまなものを集めることができます。	15
	8 集めたことから、ひつようなことを選んで、調べたことをまとめることができます。	16
	9 調べてわかったことを、わかりやすい方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	11
	10 調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	15

	0		
	1	友達と聴き合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	1 8
	1		
	1	発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。	1 7
	2		
	1	自分の考えを進んで伝えています。	1 3
	3		
	1	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくらうとしています。	1 7
	4		
振り返り力	1	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	1 5
	5		
振り返り力	1	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	1 4
	6		

アンケートの結果から、概ね肯定的な評価をする生徒が多かった。しかし、その中でも、いくつかの項目が全体に比べて割合が低い傾向にあった。

課題発見力に関わっては、「地域の方のために自分にできることを考えています。」の項目である。これまでの学習では、地域に関する内容を中心に取り組んできているものの、地域の方から話を聞いたり、地域に出て体験活動をしたりすることが多かった。従って、実際に自分たちが考えたことが地域の役に立った経験をしておらず、自分たちの学習していることが地域の未来を救う可能性があるということを実感できていないのではないかと考える。

課題解決力に関わっては、「調べてわかったことを、わかりやすい方法（図、グラフ、表など）を考えてまとめています。」の項目である。これまでの学習では、情報収集を行い、自分たちが学んだことを発表する機会はあったが、写真を用いるなどして可視化することはあっても、図や表などにまとめることはなかったことが原因だと思われる。また、「自分の考えを進んで伝えています。」の項目においても肯定的な評価が他の項目に比べて少なかった。普段の学級の様子を見ていると、授業中に手を挙げて発表したり、人前で自分の意見を伝えたりすることに苦手意識をもっていることが分かり、そこが要因だと考える。

○単元観

本単元では、自分たちが住む神石高原町の地域活性化のために他の地域のことを調べたり、実現可能な方策を考えさせたりすることを通して、「自分たちでも地域のためにできることはあるんだ」と気付かせるとともに、もっと地域活性化のために考えてみたいという心情を育てていきたい。さらに、自分たちが卒業した後もこの学習が生かされ、継続的に町を救う方策とするために、12月に行われる町の「次世代議会」で説得力のあるプレゼンテーションを行うため、自己表現力を向上させていくことをねらいとしている。

○指導観

指導に当たっては、課題発見力・課題解決力・振り返り力をつけるために以下の工夫を取り入れる。

課題発見力	<p>授業の終盤で、生徒が個人的またはグループ等で課題解決に向けて取り組んだ内容をシェアさせ、その中で生まれる新たな課題を次時で取り組んでいくという、課題解決と課題発見のサイクルを生み出す工夫を行う。理想としては、授業開始と同時に各自がその時間にすべきことを理解している状況を目指す。</p> <p>また、生徒の自発的な課題発見を促すとともに、教師が生徒を立ち止まらせる発問を行うことで、生徒だけでは気付くことができない視点をもたせるようにする。</p>
-------	---

課題解決力	キーワードを「狭い世界からの脱却」とし、「生徒がしなくても無理だと考えていること」「自分たちがどれだけ考えても結局大人がしていくこと」と考えていることをより現実的に、実体験をもって学ばせていきたい。インターネット等での調べ学習のみで終わらせるのではなく、自分たちがしようとしていることにはどのような機関が関わって、どのような課題を解決していかなければいけないのか、実際にインタビューをしたり、多様な他者と協働して解決しようしたりすることで自分事として捉えさせ、計画、実行、振り返り、再計画というサイクルを繰り返させていく。それを通して、視野を広げ、多面的にアプローチしていくことができる生徒を育成していく。さらに、生徒が自己の在り方生き方を考え主体的に進路を選択していく機会の一つとする。
振り返り力	振り返り際には「本時で取り組んだこと」「次にしたいこと、やるべきこと」という視点を与え、今後の学習を見通した振り返りとなるようにする。

6 単元の目標

神石高原町の地域活性化のための提案をすることを通して、現在町が行っている政策等についての理解を深め、実現可能な提案について考えとともに、他者と連携・協働して課題を発見し、計画的に課題解決する力を身に付ける。

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	課題設定し、解決する方法を考える。
課題解決力	よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめることができる。
振り返り力	学んだことを自己の生き方につなげて振り返ることができる。

8 評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		課題設定・情報収集 整理分析・まとめ表現	協働・自己理解 将来展望・社会参画
単元の評価規準	<p>① 町ではどのような地域活性に向けた取組が行われているかを理解するとともに、自分たちがどのような地域活性に向けた取組をすべきかを理解している。</p> <p>② 相手意識をもち、伝えるための具体的な方法や、目的に応じて情報収集したり、まとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>③ 町の地域活性化に関する問題状況と自分たちの生活との関わりについての理解は、探究的に学習してきた</p>	<p>① 地域活性を実現する活動を通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。</p> <p>② 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。</p> <p>③ 課題解決に向けて、視点に合わせて情報を整理し考えている。</p> <p>④ 相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。</p>	<p>①新たに分かったことや、自分の学び方の成長、学んだことの自分にとっての意味、学んだこと同士の関わりについて振り返ろうとしている。</p> <p>②振り返った中から、次の学習の課題や活動について考えようとしている。</p> <p>③探究していく中で、友達の想いなどを想像して関わり、相手のことを考えた行為を自ら進んで行おうとしている。</p> <p>⑤ 地域との関わりの中で、地</p>

	<p>ことの成果であることに気付いている。</p>		<p>域への親しみを感じ、自分にできることを見付けようとしている。</p>
--	---------------------------	--	---------------------------------------


9 単元におけるルーブリック（思考力・判断力・表現力等）

	A	B	C
項目	<p>地域活性を実現する活動を通して感じた関心と友達の意見をもとに課題を見付け、解決の見通しをもつことができる。</p>	<p>地域活性を実現する活動を通して感じた関心をもとに、課題を見付け、解決の見通しをもつことができる。</p>	<p>地域活性を実現する活動を通して感じた関心をもとに課題を見付けることができない。</p>

10 学習過程ごとの主な学習活動と評価規準（全70時間）





★＝立ち止まりポイント

（本当にこれでいいのか、壁にぶつかったときどうすればいいのか考える場面）

時数	学習過程ごとの主な学習活動	
3	<p>【昨年度4月】</p> <p>○単元の課題設定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度深めていきたいことは何か話し合い、今年度の方向性を固める。 ・自分が深めていきたい内容を選択し、プロジェクトチームを結成し、そのプロジェクトチームごとに調べ学習をしたり、ゲストティーチャーを呼んだりするなどして情報収集をする。 	<p><small>令和4年度 第2学年総合的な学習の時間 キーワード</small></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 働きやすい町の実現 2 後継者問題 3 土地の活用 

20	<p>【5, 6, 7月】</p> <p>課題：それぞれのチームで情報収集をして、町の課題への理解を深める。</p> <p>○ICT 機器や情報誌等を使って情報収集を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町にある事業所を知り、職場体験先の候補を挙げる。 ・後継者問題を抱えている事業所について調べるが、情報が少ない。 <p>★ICT 機器や情報誌では調べられる内容にも限界があることを知り、情報収集の手段を模索する。</p> <p>○机上での調べ学習に頼るのではなく、取材をしたり、ゲストティーチャーを呼んだりすることで情報収集を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に農業、商業などの事業所で後継者問題が起きていることを知る。 <p>★後継者不足にある背景を探り、どのような方策があれば町での働き手が増えるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の農業離れや雇用条件の厳しさなどが背景にあることを知る。 ・職場体験先に農業関係や商業関係の事業所を候補として入れることに決定する。 ・職場体験先で仕事をただ体験するだけでなく、雇用状況や、「働きやすい職場とはどのようなものか」について実際に働いている大人目線の意見をインタビューするために、インタビュー内容を精選する。
19	<p>【8月】</p> <p>○職場体験学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「働きやすい職場」について情報収集を行う。 ・実際に働いてみて、働き手の困り感ややりがいなどについて理解する。 ・職場体験学習で得た情報を集約し、今後の学習の方向性を話し合う。 <p>★自分たちで「働きやすい職場」として新たな働き口を生み出すことは不可能ではないかと考える。</p>
6	<p>【9月】</p> <p>○今後の方向性について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで新たな職場を創り出すことは現実的ではないから、町が行っている就労支援や住みやすさなどについてまずはより多くの方に知ってもらうことを目標と設定する。 ・12月の町主催、「次世代議会」で地域活性化のための案を議題として提出することに決める。
6	<p>【10月】</p> <p>○町の魅力を発信するための広報活動の手段を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の一つとしてツアーがあることを知る。 ・自分たちがアピールしたい場所を中心としたツアーの内容を考える。 <p>○様々な地域のツアーの内容を基にツアーの内容を吟味する。</p> <p>★よっぽど有名な観光地でない限り、何かそこを訪ねる「目玉企画」のようなものがないと集客が見込めないのではないかと気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の一番の観光地として新たに「瀬戸内海が見える日本一の観覧車」を建設することを1

	<p>つのグループが提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツアーには食事なども付くので、現存の食事処でも良いが、余った土地の活用という観点から、古民家を再利用してカフェを創ることを1つのグループが提案する。 ・現在の流行と、神石高原町の豊かな森林を活用した、新たなアスレチック施設の建設を1つのグループが提案する。 <p>【ポイント】ここで職場体験後に感じていた「新たな働き口を創りたい」という思いが、ツアーを考えていく中で新施設を創り出すという提案が出たことにより、繋がる。</p>						
<p>8</p>	<p>【11, 12月】</p> <p>○次世代議会に向けてプレゼンの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設の建設に必要な資金や、建設する場所について考える。 ・より説得力のあるプレゼンにするために、教師にプレゼンを聞いてもらい、改善する。そこで教師から立ち止まるべきポイントが示される。 <p>★「町が現在どのような取組を行っているか知っているのか？町はどのくらい観光に費用をかけているのか知っているのか？」→ 何も知らず、かなり現実離れした計画を立てようとしていたことを知る。</p> <p>○次世代議会でのどのような提案の仕方をするか再度考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代議会では、自分たちが考えている町の活性化に向けた取組をプレゼンするとともに、町が取り組んでいることについて質問をして、情報収集の場とすることを決める。 ・町に以下の質問をする。 <p>質問① 観光地により多くの人があるために、町はどのようなこと（工夫）をしていますか、また観光の面で町はどんな町にしたいと考えていますか？</p> <p>質問② 現在町内にあるアスレチック施設は、古くなっていてあまり利用者がいないように感じっていますが、町は今後それらの施設をどのようにしていこうと思っていますか？</p> <p>○次世代議会でのプレゼンを行う。</p> <table border="1" data-bbox="284 1397 1114 1832"> <tr> <td data-bbox="284 1397 683 1621"> <p>1泊2日ツアーの内容</p> <table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー </td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="683 1397 1114 1621"> <p>アスレチックを計画した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地を有効するため ・ 町の活性化 ・ 神石の認知度を高めゆくゆくは定住してくれる人を増やす ・ 神石にはないものをつくる </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="284 1621 1114 1832"> <p>古民家カフェをつくるメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古民家カフェをつくり神石高原町に人を呼び込むことで地域活性化につながる ・ 使われていない空き家を再利用することで500sな取り組み ・ カフェが有名になることで、観光客が増える ・ 古民家カフェをつくることで、空き家が減る ・ 古民家カフェを訪れることで、心が癒される </td> </tr> </table>	<p>1泊2日ツアーの内容</p> <table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー 	<p>アスレチックを計画した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地を有効するため ・ 町の活性化 ・ 神石の認知度を高めゆくゆくは定住してくれる人を増やす ・ 神石にはないものをつくる 	<p>古民家カフェをつくるメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古民家カフェをつくり神石高原町に人を呼び込むことで地域活性化につながる ・ 使われていない空き家を再利用することで500sな取り組み ・ カフェが有名になることで、観光客が増える ・ 古民家カフェをつくることで、空き家が減る ・ 古民家カフェを訪れることで、心が癒される 	
<p>1泊2日ツアーの内容</p> <table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー 	<p>アスレチックを計画した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地を有効するため ・ 町の活性化 ・ 神石の認知度を高めゆくゆくは定住してくれる人を増やす ・ 神石にはないものをつくる 				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の散歩 ・ 古民家カフェ ・ 1泊2日ツアー 						
<p>古民家カフェをつくるメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古民家カフェをつくり神石高原町に人を呼び込むことで地域活性化につながる ・ 使われていない空き家を再利用することで500sな取り組み ・ カフェが有名になることで、観光客が増える ・ 古民家カフェをつくることで、空き家が減る ・ 古民家カフェを訪れることで、心が癒される 							
<p>8</p>	<p>【1, 2, 3月】</p> <p>★観光地を建設しようとするのはいいが、町はそこまで多くの財源がないことを知り、現実的に難しいことを知る。</p> <p>○次世代議会での答弁を受けて今後の方向性について話し合う。</p>						

	<p>・ツアーの提案を軸に、もっと実地調査をしたり、自分たちの計画を実践しフィードバックをもらうなどして、来年度の次世代議会でより内容の濃い、現実的な提案をすることをゴールに設定する。</p> <p>○実地調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスレチックチームは神石高原ティアガルテンで宝探しゲームをし、アスレチック施設を体験する。 ・古民家カフェ建設グループは近くの古民家カフェに行き、実際に食事をしたり、インタビューをしたりする。 ・事業所の方々は、もしツアープランの一部として訪問先になっても歓迎すると言っており、訪問先として候補に挙げる。 <p>○今年度の振り返りを行い、来年度に向けての課題等を出す。</p>
<p>8</p>	<p>今年度【4月】</p> <p>○今年度の学習内容について計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の復習を行い、今年度は次世代議会で提案を目標とし、実地調査や実践することを中心に学習をすることを決める。
<p>6</p>	<p>【5月】</p> <p>○自分たちが考えた方策が実現していくための道のりを考え、情報収集などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような関係機関と連携していくべきか知るために、まずはツアーの内容を具体的に考える。 ・どのようなツアーが全国で行われているのか、人気なものは何かを調べる。 <p>★そもそも自分たちが考えたツアーを一般のお客様に回ってもらうというのが現実的に可能なのかという不安の声があがる。</p> <p>★町の観光協会の協力がないと実現しないのではないかという案が出る。</p> <p>○町の観光協会の方に来ていただき、「現在どのようなツアーが行われているのか」「ツアーを考える際に留意すべきことは何か」「そもそも自分たちが考えたプランで一般の方が回るのは現実的なのか」などの質問をし、情報収集を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会が旅行会社として存在しているので、実現可能だということを知り、意欲が上がる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>6</p>	<p>【6月】</p> <p>○観光協会の方の話を受けて、ツアーの内容を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット層を決めて、「何をさせたいか」「何に付加価値を付けるか」などの視点から内容を考え、再考する。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;">   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px;"> <p>【活動の様子】</p> <p>ターゲット層が決まり相手意識が芽生え、実際に考案したツアーを回ってもらう人をイメージしながら魅力的なツアーを考案することができました。</p> </div> </div>

【本時】○ターゲット層を基にしたグループに分かれ、ツアープランを考える。

- ・「所要時間」「値段」「体験活動」など、具体的な内容も含めて考え、ゲストとして来ている先生方に意見をもらい、深めていく。



★立ち止まりポイント

それぞれの先生が生徒に立ち止まりポイントを与えることで、ツアーの内容を見直すヒントになりました。例えば、観光地ごとの距離感や移動手段、空いた時間の活用などについてアドバイスがありました。

8

【7月】
○ツアーの内容を回りの、再度観光協会の方に来ていただき、ブラッシュアップ。



【授業の様子】

更にブラッシュアップした内容を観光協会の方に発表しました。生徒はこれが最終プレゼンのつもりで、より実現可能なプランを提案しており、当初の計画よりもかなり詳細なものになっていました。

★もう少し計画を練ってほしいと要望がある。特に「ツアーとして開催するより個人で（観光地に）行ってもらう方がいいのではないか」や「スケジュールが過密である」などの意見をもらったグループが多く、今の状態ではツアーとして売り出せないと言われた。



★立ち止まりポイント

観光地であるお寺がすでに同じような企画をしているので、ツアーにする必要はないのではないか。



★立ち止まりポイント

高齢者が回るプランだが、移動距離が長いことと回る場所が多いので負担が強いかもしれない。

25

【8月～10月】

○再度練り直したプランを観光協会の方にプレゼンする。

○自分たちが考えたツアーを実際に一般のお客様に回っていただき、アンケートを採るなどして、情報収集し、必要であればツアーの内容の見直しをする。

秋の紅葉！神石高原のんびりゆったりツアー

マイクロバス			
9:00-9:30	10:00-10:30	11:30-12:30	13:00-14:00
福山駅・平成大学	道の駅さんや1825.T	市街地観光	光徳寺の遊歩くろ
集合	バス	休憩	バス
14:20-15:00	15:30-16:00		
移動	光徳寺	移動	福山駅・平成大学
解散	バス	解散	

※入浴料別室はゆっくり入浴

催行をするのであれば、10月31日火曜日が都合つく。

項目	代金	備考
マイクロバス代	8,500円/人(税込)	10人換算
観光バス代	1,800円/人(税込)	
ゆっくり食事(温かい食事)	1,000円/人(税込)	
文化寺人形・ゆっくり入浴代	500円/人(税込)	
保険料/雑経費	500円/人(税込)	
合計	12,000円/人(税込)	

【授業の様子】

考えたツアーが実施されるために、タイムスケジュールや金額など詳細な内容を示した企画書を提出した。結果、1つのプランが実施されることとなった。

○結果的に、1つのプランがツアーとして実施されることとなり、2つのプランは町の観光モデルプランとして観光協会のホームページに掲載された。

★ツアーが実施された際にアンケート等を使って、観光客の生の声を聞きたかったが、ツアーの最少催行人数まで応募がなく、実施されなかった。

★生徒たちは「自分たちが卒業した後も、考えたツアーが町の活性化の一助となってほしい」と考え、次世代議会での提言を決心した。

【教師の気づき】

次世代議会まで魅力化ツアーに関してモチベーションを保つことが難しかった。ツアーを完成させ、観光協会からフィードバックをもらって、このツアーに関する取組に一区切りついたような感じだった。町を魅力化するためのツアーを実施することが目的だったが、ツアーを作ることが目的ようになってしまい、次世代議会に向けた取組も少し進度が遅くなってしまった。

17

○実践したことをまとめ、町の「次世代議会」で提言し、町としてツアーを盛り上げていってもらうように（資金面、広報活動等）提案する。

質問

①地域の農家さんたちが観光業に参加できるように財政面、人材面、環境面で町からどのような支援をすることができますか？

②ナイトタイム、早朝コンテンツを造成するという町の施策がありますが、現在どのようなコンテンツがありますか？

③幸運仏、紙飛行機タワーの恋人の聖地としての認知度を広める政策はありますか？

【授業の様子】

「自分たちが卒業した後も考えたツアーで町を助けたい」という思いから、このツアーが継続されていく上での課題について話し合った。それらをまとめ、次世代議会で町に質問をした。

○次世代議会での答弁をクラスに報告し、今後どのようなことに取り組んでいくのか、また下の代に引き継いでいくのか話し合う。

11 本時の学習

(1) 本時の目標

魅力的なツアーの実現について、様々な視点から考え、大まかなプランを立てることができる。

(2) 本時の評価規準

課題解決に向けて、視点に合わせて情報を整理し考えている。

(3) 準備物

〔指導者〕 電子黒板〔生徒〕 総合ファイル、タブレット

(4) 学習の展開 (17/70時間)

学習活動 ○指導者 ・予想される生徒の発言	・指導上の留意事項 ○評価規準および判断基準 (方法)
--------------------------	--------------------------------

<p>1 本時の内容を確認する。(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は何をしますか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>魅力的なツアーの実現について、様々な視点から考え、大まかなプランを立てよう。</p> </div> <p>2 グループ活動を行う。(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは高齢者をターゲットとしているから、時間は短めがいいね。 ・高齢者は昼ご飯の時間は長めの方がいいから、ゆっくりご飯が食べられるところにしよう。 ・私たちはファミリー層をターゲットにしているから、体験活動があったほうがいいね。 ・付加価値の高い体験活動でなんだろう？ ・私たちは20～30代の男性・女性をターゲットにして婚活プロジェクトを考えるから、できるだけ広い範囲に募集をかけたいね。 ・でもそれだとお金がかかるから、費用面の工夫をしないとイケないね。 ・私たちはツアーの目玉をフルーツ狩りにするから、季節が限定されるね。 ・違う季節の時の代案も作っておこう。 <p>3 ゲストの先生方に現段階のプレゼンをして、意見をもらう。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かに自分は〇〇なんて行きたいと思わないな。 ・せっかくお金を払うなら、もっと美味しいものや普段見れないものが見たいな。 ・そういう視点では考えてなかったな。 <p>4 本時の振り返りをする。(7分)</p> <p>○先生方からのアドバイスを受けて、見直すべき点を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用がかかり過ぎるから、次回はもう少し安いところを探そう。 ・もっとツアーの目玉となるような、インパクトのあるものを探そう。 ・キャッチコピーとなるような、新しいジャンルの言葉を自分たちで考えてもいいかもしれないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習は行わず、全員が本時ですべきことを理解している状態を実現するため、前時の記録等を残しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに考える手順を示し、それに沿って聴き合いを行わせる。 ・積極的に意見が言える環境を創り出すため、大人数でのグループ編成は行わず、少人数での活動とする。 ・色々な視点から内容を考えさせるためにタブレットを活用させる。 <p>○課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えることができる。 (プリントへの記述・活動の観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒目線では気付くことができない視点からアドバイスをする。 <p>【先生方の視点】 <u>自分ならそのツアーに参加したいか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上の空論で終わらせないために、「自分たちがそのツアーに参加したいか」「聞いている先生が参加したいと思ったか」などの発問を行い、より現実的な内容を目指す。
--	--

12 板書計画

<p>本時の目標</p>	<p>魅力的なツアーの実現について、様々な視点から考え、大まかなプランを立てよう。</p>
<p>ツアーを作る視点</p> <p>① 誰を対象にするか？</p> <p>② 何をしてもらいたいのか？</p> <p>③ 何を見てほしいか？</p>	<p>本時の活動</p> <p>① ツアーの内容を考える (30分)</p> <p>② ゲストの先生方に発表 (10分)</p> <p>→ アドバイスをいただく</p> <p>③ 振り返り (7分)</p>

- ④ 時間配分をどうするか？
- ⑤ 代金をいくらにするか？